

# 富丘少年消防クラブ

『富丘少年消防クラブ』が活動を始めたのは昭和六十一年。それから十八年間に渡って活発な活動を続けています。

消防署員やクラブOBと協同して「防火ボード」を作って国道五号線沿いの手稲消防署西宮の沢出張所に掲示したり、地域のごみ拾いをしながら防火を呼びかける「防火クリーン作戦」を行ったり、消防団と一緒に手稲本町商店街の歳末パトロールを行ったりして、地域に防火を呼びかけています。

さらに、点字で防火の標語を打ったしおりを作ったり、夏・秋・冬の防火キャンペーンに合わせて単身高齢者へ防火メールを送ったり、地域の防災を考えるDIG（災害図上訓練）を行ったりと、次々と多彩な活動を行っています。また、応急手当やロープの結索などの訓練も日常的に行っており、地域の防災訓練などで成果を披露しています。



▲みんなで防火ボードを設置

クラブ員は小学四年生から六年生で、現在二十四人。指導者は、消防団員で指導部長の小林環さんや手稲消防団団長で顧問の安澤正美さんを始めとして、消防団員やクラブ員の親が務めます。「訓練は相当厳しくやっています。でも、そうやって何かを達成した時の子どもたちの顔は、自信に満ちた本当にいい顔。この達成感はかけがえのないものになるはず」と小林さんは言います。「子どもたちにはたくさんの可能性があります。それぞれの得意分野で役割を担っていくことで、驚くほどの成長を見せてくれます。こちらが教えられることも数え切れません」。

少年消防クラブでの活動に留まらない動きも出てきています。6年前に同クラブのOB

B会が設立され、さらに今年からは少年消防クラブOB以外でも参加できるようになりました。このOB会の活動が一層活発になることによって、地域の防火・防災活動のリーダー的存在になっていくことも期待されています。

「『まち』は『人』が形づくるものだから、『まちづくり』は『人づくり』だと思います。辛いことを乗り越えて何かをやり遂げたときの喜び、ふるさとや人とのつながりの大切さ、そんな大事なことを子どもたちに伝えていきたい」と安澤さんは言います。優しさや厳しさに包まれて生き生きと活動するクラブ員の笑顔が、これからの元気な地域をつくるエネルギーになっていくのかもしれない。



▲地域のイベントで訓練を披露するクラブ員

あなたの身の周りにはどんな『まちづくり』がありますか？

地域を挙げて取り組むこと、仲間内でちょっと始めてみることで、その一つひとつが『まち』をつくる一歩になっていきます。

あなたのまちづくりをサポート <1>

## あなたの活動を応援します！

『まちづくり』の主役である区民の皆さんのアイデアと熱意が、住みよい『まち』をつくるエネルギーとなります。「こんな『まちづくり』をしてみたい！」ということがありますら、ぜひご相談ください。

手稲区は、あなたの『まち』への思いを形にするお手伝いをさせていただきます。

お問い合わせは・・・ 地域振興課まちづくり担当係 ☎681-2400内線219・227

